

鈴鹿市長 末松則子様

2022年7月14日

鈴鹿市民のコミバスをよくする会

鈴鹿市江島本町31-36

会長 辻井 良和 電話 059-386-0529

事務局 橋詰 圭一 電話 090-6577-3617

市長の責任で「生活交通の充実」をすすめて下さい(要望)

新型コロナや7月議会の対応など、ご多忙な毎日とお察しいたします。

先日、市長さんに懇談を申し入れましたが叶わず、本日、都市計画課長さんらと懇談いたしました。懇談の内容はまたお聞になると思いますが、直接お伝えしたいことがあり「要望」の形で出させていただきます。

これまで、市長さんと5回の懇談を通じて私どもの考えをお伝えし、市長さんからの「市内どこへ行っても生活交通を何とかしてほしいという声を聞くので何とかしたい。会の皆さんの思いは私たちの考えと大きな違いはない。オンデマンドや路線形式、有料無料、いろいろ試行したい。」という発言に期待してきました。

しかし、一の宮地区での実証実験の現況と、先日策定された「地域公共交通計画」に、残念な思いを募らせています。

末松市長さん3期目最後の年に、公約にも掲げられた「生活交通の充実」を着実に実現させるために、以下の3項目で市長さんのリーダーシップを発揮して頂くことを要望します。文書での回答をお願いします。

1、「生活交通の充実」を推進する、専門部署を作ってください。

※桑名市では市長直轄部署として「MaaS」推進室を作って、次世代移動手段の実証実験をすすめています。

2、一の宮地区での実証実験を抜本的に見直してください。

※人口集積の低い鈴鹿市での路線バス形式の失敗は明らかです。一の宮に長太、箕田地区を加えた地域でオンデマンドバスの実証実験を進めてください。

3、石薬師地区で、住民の要望署名に応えた計画を行政の責任で進めてください。

以上。